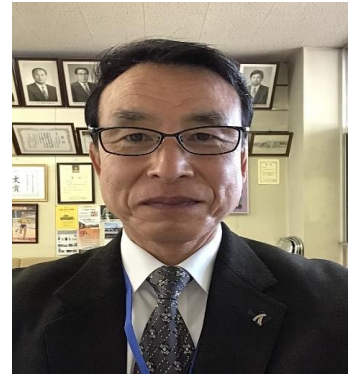


こんにちは

この度、山鹿市教育委員会から参りました校長の藤島浩一(57才)です。このような形でのご挨拶、さみしい気持ちでいっぱいですがよろしくお願いします。



さて、4月1日に赴任し、学校内外を見て回りました。

山鹿中学校の活躍は聞いていましたが、生徒達の活躍の多さに圧倒されました。

校長室前には30本の優勝旗がズラリと並び、室内には数多くの賞状。そして、各教室や廊下、部活動練習会場等の清掃や整理整頓の状況から生徒たちが、その場にいなくても日々の充実した躍動感あふれる活動が見えてくるほどでした。

今後、私は生徒一人一人の名前を覚え、授業を参観したり、昼休みに遊んだりして生徒達と関わり、認め励ましながら精一杯応援していきます。

今年、私は職員に「信頼関係を軸として子どもたちや保護者の方々に関わってほしい。信頼という軸を持ちこの軸から手を離さないで関わってほしい。つまり信頼を築き上げるという姿勢を持ち対応をしてください。」とお願いしています。

信頼を得るためには、優しいとか話が分かるというだけでは信頼を得ることはできません。なによりも子どもたちの立場で、子どもたちの成長を願い、あきらめずに関わる姿勢です。子どもたちを我が子であったらと考え関わることで信頼がお互いに生まれます。その信頼関係の基で、子どもたちがすすくと活気あふれる日々の生活を過ごすことができるよう81名の職員で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いします。以下、方針や目標等を示しております。

教育理念は、

何のためにこの山鹿中学校が存在するのか。また、山鹿中学校の存在価値は何なのかを考え「人づくり まちづくり 元気づくり」としました。

教育目標は、「共に自立をめざす生徒の育成」

～認め合い、つながり合い、高め合う活動をとおして～

目指す学校像は、「信頼される」学校

- ◎ 生徒、保護者、地域住民、近隣校(園) から信頼される学校
- よき伝統を継承しつつ新たな伝統を創造する学校
- 家庭や地域と協働し、前進する学校

目指す生徒像は、「自立した」生徒

- ◎ 人権尊重の精神を身につけた生徒
- 仲間を思いやり大切にできる生徒
- 自己管理能力のある生徒
- 夢の実現に向け、あきらめない生徒
- 嘘を言わず、素直で正直な生徒

目指す職員像は、「信頼を軸にした」職員

- ◎ 信頼を軸にし、関わる職員
- ◎ 組織で協力、助け合える職員集団
- ◎ 本気で関わる職員